



## 『夢通信』200号

昭和61年5月に開始した『夢通信』、神戸商科大学の三井光晴教授に絶大な援助を頂きました。以来、日々の雑感を毎月1枚に綴り続けています。気がついてみるとすでに16年が経過し、この7月が200号になりました。この機会に16年間を振り返ってみます。

お客さまの声を聞き経営に反映したいと考えた、我が社変革への挑戦でした。始めは70部程度、A5の大きさに印刷屋さん頼んだ専用のレターヘッドに文字だけを位置合わせしてコピーしていました。この16年間の大きな変化の一つはパソコンの進化です。最近のソフトを使うと素人でも印刷屋に近いことが出来るようになりました。第1号は昭和61年5月、パソコン TALK 560（富士ゼロックス）のワープロソフトで、一字ずつ変換しないと必要な漢字が出ない。そんな不便な、今では考えられないスタートでした。その後ワープロ（オアシス）、ワークステーション、パソコン（ウィンドウズ）と変遷しました。現在はスキャナーやデジカメの画像をふんだんに含んだカラーでA4の通信が出せるようになり、部数も400近くになっています。

遠方のお客様のところへ数年ぶりに訪問しても、毎月出会っているような近親感が出来あがっていて親しく話しが進みます。仕事の内容よりも、鍛冶屋や鉄の話、又、その土地のユニークな出来事など、友人としての話題になっています。

『夢通信』や過去に集積した技術資料を含むホームページ『むらの鍛冶屋』も生まれ5年が経過し、アクセス数は6万件になりました。これらの情報提供によりお客様の要望を得て、昨年には“かてーな”（バイク盗難防止用チェーン）が誕生しました。今年も新しい商品に挑戦しています。ご要望やご意見をいただくと幸いです。

『夢通信』は今後も続けてゆきますので、ご愛読を願ひ、ご投稿をお待ちしています。

### 夢通信 第1号

お得意様各位

我が社のイノベーション

我が社の場合、造船・海運・円高不況のなかで事業環境は厳しく、ただイノベーションのかけ声を挙げて、なかなか社内の人々は燃え上がらなものです。「自分も含めて、人間はあまり器用でない。昨日までの思考や行動のパターンから、なかなか抜け出せない」ということも改めて認識しました。また、「何かしなければならぬと思うけれど、なかなか具体的によいアイデアが浮かんでこない。」ということも実感しました。そうしたなかで、決して新しいことではないのですが、「お客さまの信頼や満足をこれまで以上に大きくするような生産と販売の体制づくりをするためにはどうしたらよいか？」この原点に帰って、我が社の特徴づくりを社員一丸となって取り組むこととした次第です。それは具体的には、我が社とお客さまとの間のコミュニケーションをもっと活発化することです。

弊社宛葉書を同封致しますのでご不潔・御意見・御提案等、何でも結構ですから、御記入の上、投函下さい。

どうか、私共へ何なりと御命令下さいますようお願い申し上げます。

敬具

昭和61年5月26日



姫路市飾磨区阿成1803  
衣川製鎖工業株式会社  
TEL 0792 (34) 1516  
FAX 0792 (34) 1519  
取締役社長 衣川 良介

むらの鍛冶屋



URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>  
<http://www.kanamonoya.co.jp/>  
e-mail [ryou@memenet.or.jp](mailto:ryou@memenet.or.jp)

何でもお気軽に  
お尋ねください !!